

令和6年度釜石市地方創生アドバイザー開催結果について

日時：令和6年11月19日(火) 13:00～15:00

会場：ちよだプラットフォームスクウェア（東京都千代田区神田錦町3-21）

出席者：地方創生アドバイザー 11名

釜石市：小野市長、中村総務企画部長、オープンシティ・プロモーション室

内容：地方創生に向けた取組状況について

- ・釜石市オープンシティ戦略の改訂について
- ・デジタル田園都市国家構想交付金の活用状況について

次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 協議・意見交換
 - (1) 釜石市オープンシティ戦略の改訂について
 - (2) デジタル田園都市国家構想交付金の活用状況について
- 4 閉会

【議事録】

枝見 AD

- ・取組が時の流れにマッチしており、よくやっていると思う
- ・不足している部分を上げるのであれば、広報戦略のようなものが出てこなかった
- ・既存のメディア以外をどう活用するかによって、波及効果が大きくインバウンドを狙うことができる
- ・釜石の歴史に関するコンテンツがあるにも関わらず発信をしていないと感じる
- ・企業も含め日本では寄附の文化がないため、相手側のメリットを提示すべきである
- ・また、企業版ふるさと納税は税控除があるものの企業の支出があるため、企業が支出した寄附金が違う形で利益になる計算を作ってやらないと寄附は増えない
- ・全体的に言うと良くやられている

青木 AD

- ・そんなに大したことがない理由で転入転出している可能性があるため、聞き取りを継続することをおすすめ
- ・気になった点として、フォロワーの人数でカウントするとアクティブじゃない人もいるため、アクションを起こした人のみカウントした方が良い
- ・ふるさと納税の寄附を KPI に入れた方が良いと思う。オンラインよりつながりの強さが

違うから

- ・寄附者が望んでいることは、お金が無駄にならないという確信だと考える、寄附した後に自分のお金がどう使われたかを示すことが重要である
- ・高額寄附者は個別対応してもらいたいと考えている傾向にある。その人ごとに何を望んでいるか見極める必要がある
- ・逆に少額寄附者は数を集めることが重要である。寄附をいかにやってもらうかは SNS を活用すべき

玄田先生

- ・財政再建の件について、深刻だと思うと同時に、こういった内容を市民や関係者に訴えることについては両面あると感じる
- ・危機感をもってもらいたいかもしれないが、今の日本の状況で財政再建を訴えられますと気持ちが沈んでしまう
- ・その結果として、釜石市を離れられてしまうと元も子もない
- ・コンテナの安定的な収入はものすごい強みであり、その強みを市民に認知されていない
- ・2050年に1万6千人という危機感具体的な目標として良いですが、まだ先のように感じるため、2030年の2万5千人を切るかなど、直近の数字で訴えてもいいと思う
- ・出生数について、前年度に比べて出生率が増加している理由を追求すべき
- ・情報面でかまishi DMC が仕事をし始めているように感じる
- ・インテリジェンスという言い方をするが、どうやって情報武装をしていくか大事
- ・地域ビジョンについて、「市民一人ひとりが役割を持つ、真に開かれたまち」はいいと思うが、世の中の流れ的に人口が減って1人にいろいろなことしてもらわないと成り立たなくなる
- ・一人ひとりが役割を持つことも大切だが、2万人を切る頃には一人一役では町が成り立たなくなると思う
- ・つながり人口について、どう図るかがポイントであり戦略内の指標は魅力があって良い
- ・釜石市は鉄と魚とラグビーの町であるが、文化の町とも感じる
- ・林芙美子が東北の上海と呼んでいたりと、井上ひさしのお母さんの話がいろいろなところに落ちていて、板沢武雄もいたり釜石は文化の町でした。
- ・釜石の文化について、本をテーマにしてもいいと思います。
- ・文化のないところに人は来ないため、釜石の文化に期待したい
- ・高齢者のデジタル活用で高齢者の負担なくできるようになればアピールしてほしい
- ・エピソード評価を大事にしてほしい
- ・様々なエピソードを自分の言葉で表現していかなければならないと思う

佐藤AD

- ・人づくりは、ヒューマンキャピタル（人間への投資）が大事である
- ・特に途上国支援をする上で、や政府の人たちが国を回していかなければならないため、そのためにはキャピタルが必要になる
- ・日本が途上国になりつつあるのではないかと感じている
- ・外国人が大量に物を購入していて、日本人が買えない状態であり所得の減少や円安の関係が大きな要因だと思うが、日本がバンコクのように感じている
- ・このあたりのインバウンドをどうやって釜石市に呼び込むことが、つながり人口の作り方につながるのではないかと思う
- ・働き手不足は外国人人材に頼るしかないと思う
- ・人口減少を止めるのは無理だと考える。
- ・すべての事業や計画において女性の目線が必要である
- ・女性の目線を入れないと女性が住みたい町にならない
- ・出産において、画像診断ができるようになったり、アクセスをよくするなど安心して出産できる町づくりをしなければならないと
- ・高齢女性が増えているため、重点的にサポートすることが重要である
- ・出産可能年齢層が出産して子育てしやすい町を作り発信していくことが大事だと思う
- ・台風災害等に活用した際は、いただいてありがとうございますと日本政府に伝えるが、これをもらったことでこんなに助かりましたと訴えかけるストーリーを発信することが寄付金を得やすい
- ・SDGsについて、2030年までにゴールに達せないため変わると思う
- ・2030年以降もSDGsみたいなものが出てくると思いますのでSDGsにリンクすることは悪くない
- ・KPIについて、あまりにも数にこだわりすぎているような気がする
- ・数ではなく質がどのように変わったかを示すことに注力してほしい

吉野 AD

- ・昼間人口が夜間人口に比べて多いが、就業場所があるので昼間人口が増えている
- ・夜間人口が少ないということは住んでいる人が少ないため増やすことを考えなければならない
- ・また、昼間人口の人たちの働き先が製造業なのか商業なのか、分析してみてもいいと思う
- ・若い女性が住んでみようと思える町を実現できるかどうかが大変だと思う
- ・復興住宅をどう活用していくかが考えていく必要もある
- ・昼間人口と夜間人口の差を埋められるように、釜石に住んでいる人を増やすことも考えてほしい